

令和2年度

児童発達支援自己評価・集計結果

事業者向け

12部配布した結果、12部の回答あり（回収率100%）

西北五広域福祉事務組合
ステップアップセンターもりた

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	事業所で決めた改善策・今後に向けて
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・個室が多くこべつに対応。 ・個室が多くあり、オン・オフの切り替えが出来ている。 ・個別課題を行える個室がある。 ・十分に対応が出来ている。 ・個室が複数設置されているため、児童の状態にあった対応ができる。 ・個別支援や集団支援を行う為のスペースは十分に確保出来ている。 ・利用児童の特性に合わせて課題に集中できる環境や、十分に身体を動かせる環境を整えている。 ・個室等もあり、利用人数に対して十分に確保されている。 ・十分対応が出来ている。 	個室も多く確保され、適切です。
	② 職員の配置数は適切であるか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・配置人数は適切である。 ・適切である。 ・適切である。 ・個別支援に関しては、支援者が2名、集団支援に関しては進行役の他にそれぞれ1名ずつ支援者が付いて行える配置数になっている。 ・職員数が多い為、1名の利用児童に対してスタッフ2名で支援する事が出来ている。 ・配置数は確保されている。 ・国の規定人数をはるかに上回る人数確保となっている。 	国の基準値を上回る職員を確保しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・個室、トイレを含み全てバリアフリーとなっている。 ・手すりやスロープが設置されている。水飲み場などは低く構造され使いやすくなっており、段差もなくバリアフリー化されている。 ・トイレ、居室の段差や玄関のスロープ等を整備している。 ・構造化はされていないが、静の課題、動の課題のスペースは分けて行っている。また、バリアフリーにも配慮されている。 ・事業所内は全てバリアフリーとなっている。また、その日のプログラムの内容を毎回提示する事で、構造化を図っている。 ・事業所内は全てバリアフリーになっている。水飲み場は低い所と少し高い所を設置している。 ・多目的トイレに関しては事業所内にはないが、隣接している場所に設置してある。その他、事業所内は全てバリアフリー化になっている。 	その日のプログラムを分かりやすいように提示したり、遊べる場所や課題を行う場所、トイレ等がすぐ分かるようにしている。 職員が車椅子に乗車することで、全館バリアフリーになっていることを確認しています。

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日清掃をしている。個室では課題を行い、支援センターでは身体を動かす活動が出来る。 ・個室が複数設置されているため、児童の状態に合った対応ができる。 ・清掃は行われており、今年度は特に感染症対応の為毎日消毒も行っている。 ・今年度は掃除等の他に、コロナウイルス感染症対策の為、事業所内の消毒を毎日行っている。 ・毎日清掃、消毒を行っている。 ・静の課題は個室での対応、動の活動は支援センターを使用する事が出来る。 	今後も心地よく過ごしてもらえる環境を整えていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで情報を共有し、改善すべき事は意見交換をしている。 ・ミーティングを行い意見交換している。 ・日々のミーティングを通じ、振り返りや改善点等を共有している。 ・食事の際もその都度指導職員と連絡を取り合い、改善へ繋げている。 ・毎日のミーティング等で振り返り、話し合うようにしている。 ・毎日のミーティングで話し合う等している。 ・参画できるように環境を整えている。 	今後も日々のミーティングを継続しながら、業務改善に繋げていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの評価後、会議を実施している。 ・アンケート調査を実施。結果を基に話し合いをし、改善に繋げている。 ・保護者向けのアンケートの結果を職員間で共有し、改善に繋げている。 ・会議を定期的実施し、改善されている。 ・アンケートを実施し、業務改善に繋げている。 ・アンケート等を実施し、改善につなげている。 ・改善策を話し合い繋げている。 ・保護者向け自己評価表を配布している。集計結果が出次第、職員間で周知しながら改善に向けた会議を実施予定。 	1月26日に自己評価の集計結果を基に改善策検討会議を実施しましたので、改善に繋がります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・公開している。 ・ホームページに公開する予定である。 ・公開している。 ・組合のホームページに掲載されている。 ・年度内に公開をする。 ・ホームページで公開する予定である。 ・年度中に公開する予定である。 ・年度内に必ずホームページを利用して公開する。 ・組合のホームページに掲載予定。 	2月にホームページで公開します。

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	10	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っていない。 ・現在は行っていない。 ・今後は必要になると思われる。 ・現在は行っていないが、今後必要になると思う。 ・現段階では行っていない。 ・経費等の問題もあり実施できていないが、今後の課題である。 ・評価者が少なく、費用の面を考えて、検討している。 ・現時点では行っていないが、今後は経費の面や人材確保を含めた中で検討しながら進めていきたいと思う。 	経費や人材確保が難しい状態になっています。交流会の参加者等を対象にしたアンケート調査の実施を検討しています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修に参加している。 ・今年度はコロナの影響で会議を見合わせているものもあるが、実際に行った研修もある。夏に園内研修を実施している。 ・外部、内部研修に参加している。 ・8月に「栄養・食育マネジメントセミナー」へ参加（毎年）。 ・今年度は感染症拡大防止の観点から、外部研修への参加の機会が減っているが、安全を確保しながら研修へ参加している。また、園内研修や復命書を回覧し、勉強の機会を設けている。 ・新型コロナウイルス感染対策の為、回数は少ないが状況を見ながら参加しているものもある。 ・職員の資質向上につながる研修には、できるだけ参加している。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、外部研修を見合わせたものもある。内部研修は確保している。 	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、見合わせている研修も多いが、可能な限り参加しています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12		<ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者に意思を尊重し、計画を作成している。 ・児童の特性を踏まえ保護者の要望を取り入れながら、計画書を作成している。 ・作成している。 ・アセスメントを元に計画を作成している。 ・子どもと保護者の要望を確認しながら、話し合っ計画書を作成している。 ・支援計画は、標準化されたアセスメント表を使用し、利用児童と保護者のニーズを混ぜ合わせながら作成している。 ・子供や保護者の要望を入れて作成している。 ・子ども一人ひとりに寄り添った計画書を作成している。 	今後も個々に合わせた計画の作成に努めます。

⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所独自のツールを使用している。 ・事業所独自のアセスメントシートを使用している。 ・統一した計画書を使用している。 ・アセスメントシート（年1回）や厚生労働省の文書を使用し、作成している。 ・アセスメントシートを用いて分析し、計画を立てている。 ・事業所で作成したアセスメント表を使用している。 ・事業所独自のアセスメントツールを使用している。 ・ガイドラインをツールとして使用している。また、標準化したアセスメント表等を活用している。 	書類系を中心としたアセスメントツールがあります。それを通して個々の適応行動の状況を図っています。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の要望・相談を随時受けている。 ・支援内容を明確にしている。 ・設定されている。 ・作成している。個別支援計画書に保護者への項目もあり、説明をしている。支援内容を明確にしている。 ・支援計画では本人支援となっているが、家族への支援も行っている。 ・利用児童の就学先や保護者の意向等も取り入れた計画を作成している。また、保護者向け（相談の受付）の支援についても計画書に記載している。 ・ガイドラインを参考に、支援内容を設定している。 ・具体的に設定されている。 ・設定されている。 	今後もガイドラインを確認しながら支援にあたります。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿って支援内容を考えて行っている。 ・その児童の要望等を確認しながら行っている。 ・行われている。 ・それぞれに合わせた課題の設定をし、楽しみながら取り組めるように心掛けている。 ・計画書を基に日々の活動プログラムを作成している。 ・一人の児童を、主担とサブの2人で支援している。 ・実施している。 	今後も個々に合わせた支援を行っていきます。

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 児童に対し、2名のスタッフで対応している。 ・ 主に主担当が決めているが、上司にも相談して決めて、チームとして実行している。 ・ 始める前にサブの担当者と確認して行っている。 ・ 集団活動や行事の際は、チームで行う事もある。個別課題はほぼ担当がプログラムを作成している。 ・ 主担、副担の2名で行っている。 ・ 主担とサブで話を決めたり、相談している。 ・ 上司と相談しながら、あきないように工夫して行っている。 ・ 集団活動のプログラムは主担当が立てたプログラムを基に、複数職員をチームとして行っている。 	各活動に主担と副担を置き、立案をしています。その立案を基に職員全体をチームとして行っています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飽きない様にプログラムを工夫している。 ・ 個々に合わせて楽しめるよう、上司にも相談し工夫している。 ・ 利用者の希望なども取り入れながら工夫している。 ・ 日々の課題内容や、月単位で課題内容が固定化しないようなプログラムを作成している。 ・ 「飽きない、泣かない、怒らない」ように、生活面や人との関わりを重点的に考え、計画をしている。 ・ 月曜日は小集団、火～金は個別で行っている。 ・ 教材に関しては飽きがこないように新しいものを提供している。また、内容自体を子どもの能力に合わせてながら楽しめるものになっている。 	継続しつつ、新しい物を提供出来るようにします。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小集団としての活動を実施している。 ・ 特性、性格を考慮し、出来る事を増やしていけるよう作成している。 ・ 特性も考え計画している。 ・ 個別に合わせて適した時間帯を設け、3密に注意しながら計画をしている。 ・ 楽しみながら行えるように工夫し、その中でも頑張れるものは頑張ってもらう事を心掛けている。 ・ 就学に向けた個別課題や、社会性を養う目的の集団活動等を取り入れた形で計画書を作成している。 ・ 個々の個性をとらえながら、合ったものを考えて作成している。 ・ 個別支援日と集団支援日を分けて設定している。また、課題後の余暇時間を利用して他児との関りを集団活動として組み込んでいる。 	今後も個々に応じた計画の作成に努めます。

⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを行い、確認している。 ・上司に相談して確認している。 ・業務日誌への記録と、翌日のミーティング等にて職員間で周知している。 ・集団支援の曜日を設け、特性等を考慮して計画を作成している。 ・主担とサブでその日の目的等を話し合うように心掛けている。 ・行う時とそうではない時がある。今後、必ず行えるような環境を設定していく必要があると思われる。 ・支援を実施する前に、主担、副担で支援の目的を話すようにしている。 	個別課題の内容やその目的についてもミーティングで周知します。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを実施し、情報を共有している。 ・ミーティングで確認している。ただ、送迎に出て間に合わない児童に関しては、翌日になる。 ・気付いた点は話し合うようにして次につなげる様にしている。 ・ミーティングを通じて振り返りを行っている。 ・時間を設けて実施している。 ・主担とサブで振り返りを行い、次の支援に役立てている。 ・時間を設けて行っている。 ・その日のプログラムを用いて、課題ごとに気付いた点や本人の強みとなる部分を記入する事で、振り返りや共有に繋げている。 	毎日のミーティングの中で利用者の状況を共有しています。今後は厨房職員や運転手についても出来る範囲で出席してもらえるようにします。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌やサービス提供記録に記載し、検証・改善に繋げている。 ・毎日、業務日誌に記録し、支援内容を振り返っている。 ・繋げている。 ・業務日誌やサービス提供記録に記載し、改善につなげるようにしている。 ・業務日誌の記録やミーティング等を通して、支援の検証、改善を行っている。 ・業務日誌やサービス提供記録に記載し、改善に繋げている。 ・支援時の記録をとり、業務日誌に記入している。その後、助言や検証する等して、改善につなげている。 ・記録を見ながら支援の検証に繋げている。また、一つのアプローチだけではなく、違った形でのアプローチもある事を伝えながら改善に繋げている。 	良い行動ばかりでなく、問題行動等についても、細かく記載していくようにします。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリング会議を実施、意見交換をして見直しをしている。 ・見直しは年に2回定期的に行っている。 ・定期的に行い、見直しをしている。 ・最低年に2回モニタリングを行い、見直しをしている。 ・定期的に見直し会議を実施し、その児童に合った計画書の作成に努めている。 ・行っている。 ・全職員で判断している。 	年度途中から利用した方については、9月や3月にとらわれず、定期的にモニタリングを実施しています。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・会議が行われた際には参加している。 ・今年はコロナの影響で会議が行われていないが、あった場合は児童発達支援管理責任者が参画している。 ・会議がないので参画はしていない。 ・担当や児発管が出席している。 ・毎年参加しているが今年度はまだ実施されていない。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・今年はコロナウイルスの関係で要請はないが、あれば児発管や担当者が参加している。 ・サービス担当者会議とまではいかないが、相談支援事業所が同組合にあるので、児童発達支援管理責任者が個々の情報を共有し、ミーティングで伝えている。 	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議はないが、児童発達支援管理責任者が電話でのやりとりを実施しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と連携を取り、支援を行っている。 ・上司が行っている。 ・関係機関からは情報を受けている。 ・保育園の担当の先生と連携を取り、情報提供と相互理解に努めている。 ・保育園等の担当の先生と連絡を取りながら行っている。 ・利用者が通っている保育園、こども園、幼稚園等との連携を取りながら支援を行っている。 	今後も連携しながら支援を行います。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時等、情報共有・相互理解を図っている。 ・情報共有をしている。 ・送迎時等に情報共有と相互理解を図っている。 ・日頃から連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。 ・こども園等と連携を図りながら利用児童の状況把握に努め、出来るものは関係施設と統一した支援に努めている。 ・移行支援の意味では、年長組の利用児が通っている保育園等での情報共有と相互理解を図っている。 	今後も情報共有しながら、相互理解を図っていきます。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	4	<ul style="list-style-type: none"> ・支援のようせいがあれば対応。 ・要請があれば即対応出来るような体制は出来ている。 ・以前は必要に応じて情報交換を行ったケースもある。 ・現時点ではおこなっていない。 ・要請があれば行える体制はできている。 ・相談支援事業所を通じて行っている。 ・必要に応じて情報交換を行っている。 ・現時点ではないが、要請があれば即対応する体制を整えている。 ・要請があった場合は即対応できる。 ・進学について、学校側には情報共有はしていない。（個人情報の懸念）必要に応じる。 	要請があれば即対応出来る体制を整えています。

②⑤	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・入所職員が研修に参加している。 ・新型コロナウイルス感染予防の為、研修等には参加していないが、資料を回覧している。 ・同系列の事業所が参加し、研修内容を確認している。 ・感染症拡大防止の観点から、研修への参加が出来ずにいたが、同組合内で参加した研修の資料を回覧している。 ・同系列の施設の職員が参加した研修の資料を回覧している。 ・ペアレント・プログラムの研修に参加した。 	青森県発達障害者支援センターの方を講師とした研修に、同組合の職員が参加しました。その内容について内部研修を実施し職員間で周知しました。また、当事業所の職員が講師となった研修も行っています。
②⑥	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・交流をおこなった。 ・他こども園と交流を行った。 ・交流行事を通して、障がいのない子と活動した。(今年は栗拾い) ・さくらんぼ狩りや栗拾いなど交流会を行っている。 ・以前は必要に応じて情報交換を行ったケースもある。 ・新型コロナウイルス感染予防に努めながら、近隣のこども園や幼稚園との栗拾い交流会を実施した。 ・他施設との栗拾い交流会を行った。 ・サクランボ狩りや栗拾い等を通して交流会を行っている。 ・くり拾い等交流行事を通して、障害のない児童と活動している。 ・交流事業として、栗拾いにて交流の場を設けている。 	今後も交流事業を通しながら、活動する機会を設けていきます。
②⑦	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1 0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、協議会があれば参加予定である。 ・新型コロナウイルス感染予防の為、研修等には参加していないが、資料を回覧している。 ・会議があれば参加する体制が整っている。 ・感染症拡大の状況を見ながら、今後参加予定である。 ・同組合で参加している職員がいる。また、その資料を回覧した。 ・今後あれば対応する体制を整えている。 ・新型コロナウイルス感染症の関係で、今年は参加を見合わせている。 	同組合の職員が参加しているので、資料を閲覧しています。今後、機会があれば参加します。
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳・送迎時に情報提供を行っている。 ・連絡帳を通して行っている。 ・連絡帳を介しながら行っている。 ・連絡帳や送迎時に保護者さんと情報を共有するようにしている。 ・連絡帳や送迎時に積極的に行っている。 ・送迎時や連絡帳を介して、共通理解を持てるようにしている。 ・直接話したり、連絡帳を介して共通理解を図っている。 ・密に取るようにしている。 	今後も保護者との連携を図りながら、共通理解に努めます。

②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1 1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を受け、助言している。 ・上司に報告、相談し、所長補佐、児童発達支援管理責任者が行っている。 ・ペアレントトレーニングまではいかないが、助言をする時はある。 ・専門的なペアレントトレーニング等は実施していないが、必要に応じて助言等を行っている。 ・相談を受けた場合は対応できる体制はできている。 ・自分で対応できない場合は、上司に相談して行うようにしている。 ・必要な保護者には行っている。 ・家庭やこども園での状態を聞きながら、保護者が分かりやすいように丁寧に説明を繰り返している。 	今後も子育てに対する保護者の悩みを聞きながら、安心して子育てが出来る環境を整えます。
③0	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に対応している。 ・契約時に説明している。 ・利用を開始する時に上司が説明をしている。 ・契約時に行っている。 ・契約時にわかりやすく説明している。 ・契約時や問い合わせがあった場合、担当者が分かりやすいように丁寧に説明している。 ・契約時に保護者に対して丁寧に行い、同意を得ている。 ・契約時に説明している。また、随時、保護者からの問い合わせに答えている。 	今後も丁寧な説明を心掛けます。
③1	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・同意を得ている。 ・丁寧に説明し、同意を得ている。 ・説明をした後に同意を得ている。 ・丁寧に説明をし、同意を得ている。 ・丁寧に説明している。 ・作成した計画書については、丁寧に説明をしながら、具体的な支援内容についても説明するようにしている。 ・支援内容については、計画書を基に丁寧に説明している。 	今後も丁寧な説明を心掛けます。

保護者への説明責任等	③②	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・適宜対応している。 ・上司に報告しながら助言を行っている。 ・上司に相談したりして助言を行っている。 ・その都度行うようにしている。 ・その都度行うようにしている。できない場合は児童発達支援管理責任者が対応する。 ・自分で対応できない場合は、上司に相談して行うようにしている。 ・連絡帳を介したり、直接会ったりしてその都度行っている。 ・実際に会って話したり、電話であったり、連絡帳を介して助言を行っている。 	今後も保護者に寄り添い、丁寧な対応を心掛けます。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	9	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナのため、みあわせている。 ・新型コロナウイルス感染症流行に伴い、自粛している。 ・今後予定している。 ・新型コロナウイルス感染症予防の為、保護者が集まれる環境は設定出来なかった。次年度以降、保護者が集まれる環境設定をしながら、保護者同士の連携を図りたい。 ・コロナなどで見合わせている。 ・コロナ渦のため、開催を見合わせている。 ・感染症拡大防止の観点から、今年度は保護者が集まる会の開催が行えていない。今後状況を見て保護者説明会を実施し、保護者同士の連携を取れる場面を作れるようにする。 ・父母の会は設置されていないが、検討している。今年はコロナウイルスの関係で開催を検討している。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保護者が集まる説明会を見合わせた一年であった。 ・父母会の組織はないが、報告会や研修会を実施している。 	<p>新型コロナウイルス感染症予防の為、予定していた保護者説明会を見合わせています。</p> <p>現在父母の会を立ち上げていません。今後は契約と同時に父母の会に加入して頂く等の内容を検討してみます。</p>
	③④	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・即対応を心掛け、実施している。 ・迅速に対応している。(苦情が出ないような対応を心掛けている) ・適宜対応している。 ・即対応している。 ・迅速に対応するように心掛けている。 ・対応出来るものは即対応している。そうでないものについては、十分に説明をした上で環境が整い次第対応している。 ・すぐに対応している。 ・即対応を心がけ、実施している。 	今後も相談しやすい環境を整えていきます。

③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・今後予定している。 ・定期的に広報誌を発行している。 ・発行している。 ・月別の利用予定表を通して行事予定を発信している。広報誌は今後発行予定である。 ・月別の利用予定表や、広報誌を作成して利用児童や保護者に発信している。 ・している。 ・発信している。 	今年度は西北五広域福祉事務組合として、「森田学園」や「相談支援事業所もりた」と合同発行での広報誌となりました。
③⑥	個人情報の取扱いに十分注意しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に注意している。不要になった書類等はシュレッダーにかけている。 ・十分に注意して取り扱っている。 ・十分注意しながら取り扱っている。不要な書類はシュレッダーで処理している。 ・十分注意している。 ・個人情報等が記載されている書類の保管に気を配りながら、必要の無いものはすぐにシュレッダーに掛けている。 ・不要な情報はシュレッダーにかける等の対応をしている。 ・廃棄物はシュレッダーに掛け、事業所を出たら業務関係の話題は一切していない。 	今後も個人情報には十分注意していきます。
③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアル等を取り入れている。保護者には送迎時に報告したり、連絡帳に記入している。 ・配慮している。 ・時計やイラスト等ビジュアルを使用しながら支援をしている。 ・障害の特性に配慮しながら、ビジュアルなどを取り入れて支援している。 ・利用児童や保護者の会話には丁寧に耳を傾け、それに合った受け答えや対応等をするように心掛けている。 ・ビジュアルを用いる等して、配慮している。 ・子どもの特性を把握しながら、その時の思いや願いを感じ取り、その旨対応している。保護者とは特別何かあった時ばかりではなく、普段から言い合える関係を整えるように気を配っている。 	今後も丁寧な対応を心掛けます。

	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・栗拾い交流会を実施。 ・交流事業として栗拾いを行った。 ・交流事業では保育園児や老人を招待している。 ・栗拾い交流会を通じ、地域の方を招待している。 ・栗拾いに招待している。 ・サクランボ狩りや栗拾いを通して、地域住民を招待している。 ・くり拾い等に招待して、交流している。 ・協賛行事である森田学園祭には、地域住民に開放している。また、交流事業（サクランボ狩り・栗拾い）を通じ、児童や老人を招待している。 	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、例年実施してきた森田学園祭を中止としましたが、地域の方を招待して栗拾い交流会を実施しました。
	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に不審者対応研修を実施。 ・マニュアルを作成している。保護者には利用開始時説明している。 ・職員間では周知しているが、今後保護者にも広く周知していきたい。 ・8月に不審者対応の研修を行った。 ・職員は周知徹底されている。保護者には契約時と保護者説明会で説明している。 ・不審者対応の研修を受ける等している。 ・周知し訓練を行っている。保護者には契約時に加え、保護者説明会で伝える予定であったが、新型コロナウイルス感染症の関係で見合わせた。次年度は行う予定である。 	今後も職員間での周知を徹底し、同時に訓練についても定期的に行います。保護者に対しては、説明会や研修の場を活用して周知してもらえるようにします。
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月避難訓練している。 ・月に1回実施している。 ・年2回総合防災訓練と毎月1回職員の消火訓練を実施している。 ・避難訓練を定期的に行っている。 ・避難訓練（年2回）や職員の消火訓練（毎月）を定期的に行っている。 ・毎月避難訓練を実施している。 ・毎月1回避難訓練を行い、その他に職員は消火訓練も行っている。 ・毎月実施している。 ・避難訓練と、職員による消火訓練は毎月実施している。 	警察官の方が実際に不審者役となって実施した不審者対応研修や通報訓練を受けました。また、今後も継続して防災訓練や消火訓練を実施します。
非常時等の対応	④⑪	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に確認している。 ・保護者に確認している。 ・アセスメント表を作成する際、確認している。 ・処方箋や、家や保育園からの連絡をもらい、同意書を作成して説明をしている。 ・家庭調査票にて確認している。 ・処方せんをもらい、保護者へ状態等を聞いている。てんかんに関しては、発作時の通院等の同意書ももらっている。 ・家庭調査票に予防接種に関する項目がある事と、服薬やてんかん発作等がある児童については、保護者から状況を詳しく確認している。 	今後も継続して行っています。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在対象児童はおらず、必要に応じて対応。 ・ 現在はいないが、今後必要に応じては対応できる体制である。 ・ 現在は対象者がいない。 ・ 食物アレルギーのある児童は現在利用していない。今後必要に応じて対応していく。 ・ 今現在食物アレルギーのある子どもがいない事を確認している。 ・ 現在必要な利用者はいない。今後必要があった場合は話し合いながら対応する。 ・ 現在食物アレルギーの子は利用していない。 ・ 現時点で対象児はいないが、いれば対応できる。 ・ 現在、食物アレルギーの利用者がいない。今後、新規利用児がアレルギーを持っていた場合に適切に対応する。 	現在該当する利用者はいません。今後対象となる利用者が出了場合は対応していきます。また、今年度から新たに厨房職員が加わった事で、即対応が出来るようになりました。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書を作成し、全職員で共有している。 ・ 共有し、再発防止の話し合いをしている。 ・ 作成、共有し改善に向けている。 ・ 報告書で共有し、再発防止に努めている。 ・ ヒヤリハットがあった場合は、資料を作成して回覧している。今後、ニヤリハット集等も作成する事で、職員のモチベーションに繋がるのではないか。 ・ 共有し再発防止に努めている。 	ヒヤリハットについては積極的に作成することで、再発防止に繋がります。
④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な対応をしている。 ・ 研修会議をしている。 ・ 新型コロナウイルス感染予防の為、研修には参加していないが、セルフチェックリストの実施を行っている。 ・ 指導にあたっている職員は毎年参加している。保護者に対しては契約時に説明をし、組合では虐待防止マニュアルを作成している。 ・ 外部研修に参加した職員が園内研修を行っている。 ・ 全職員を対象とした内部研修を実施した。また、セルフチェックリストを記入する事で、自分自身の振り返りに繋げている。 	西北五広域福祉事務組合では、研修の他にも虐待防止委員会を設置した中で対応をしています。

	④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1 1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・該当児童無し。 ・現在は無いが、身体拘束することになった際には、保護者の同意を得ることになる。 ・同意書をもったりするが、現在は該当者がいない。 ・児童発達支援利用児童に於いて、このような事例はないが、以前放課後等デイサービスでは、同意書を作成し、サインと捺印を頂いた事例がある。 ・現時点、対象者はいない。 ・現在身体拘束が必要な利用者はいない。書類を作成し、契約時には説明をしている。 ・現在対象児童はいないが、契約時に説明している。 ・現時点で対象の子はいないが、事前に保護者から同意書をもろう等対応をする。 ・子どもの姿をありのまま保護者へ伝え、納得していただいた上で計画書と一緒に同意書を取る事になっているが、対象児はいない。 	現在該当する利用者はいません。今後対象となる利用者がいる場合には、保護者の同意を得た上で同意書を作成し、計画書に記載します。
--	---	---	-----	---	---	--